

高津川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～日本一の清流における環境と治水の調和を目指した流域治水対策～

- 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、全国各地で水害が激甚化・頻発化していることを踏まえ、高津川水系においても、事前防災対策を進める必要があります。
- 高津川の下流域は、益田市街地が低平地に広がり、水害を受けやすい地形となっており、河道掘削や堤防整備など氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策や、合わせてタイムラインの作成・防災教育などのソフト対策を、あらゆる関係者が協力して「流域治水」を進める必要があります。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、高津川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・堤防整備、堤防強化、河道掘削、堰撤去
 - ・雨水ポンプ場の増強検討
 - ・水田の貯留機能向上に向けて、地域組織への啓発・対策
 - ・砂防設備、急傾斜地崩壊対策施設、地すべり対策施設の整備
 - ・治山対策、森林整備



- 被害対象を減少させるための対策
 - ・掘削土を活用した高台整備の検討
 - ・霞堤背後地における土地利用規制



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・他機関連携タイムラインの活用
 - ・マイ・タイムラインの作成
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・洪水時の河川情報の充実（水位・カメラ映像等）
 - ・防災教育・防災知識の普及



昭和47年7月洪水による派川虫追橋の被災状況

周南市 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

高津川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本一の清流における環境と治水の調和を目指した流域治水対策～

- 高津川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
益田市街地が低平地に広がり、水害を受けやすいことを踏まえ、
【短期】益田市街地の治水安全度を向上させるため、下流域を中心に河床掘削等の整備を行う。合わせて、激甚化、頻発化する自然災害に対応するため避難計画策定や逃げ遅れゼロを目指した多機能連携タイムラインの活用等を実施。
【中長期】更に河床掘削や堤防整備を行い、流域全体の安全度向上を図る。合わせて防災教育の実施やマイ・タイムラインの普及を促進。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	益田市街地等での浸水被害の防止又は軽減を図るため、下流域及び下流支川域で堤防整備、河道掘削、堰撤去	国交省	益田市街地（須子地区外）	益田市街地外（河成地区外）
		島根県	白上川（堰撤去）	築堤・護岸
	高津川上流域での浸水被害の防止を図るため、堤防整備		津和野川（築堤護岸）	
	内水被害を軽減させるための排水機能の向上	益田市	ポンプ場の増強検討・対策の実施	
	水田の貯留機能向上	益田市 津和野町 吉賀町	地域組織への啓発・対策の実施	
	治山対策・森林整備による土砂流出抑制効果、森林の浸透能の向上	近畿中国森林管理局、森林研究整備機構・島根県・島根県林業公社、益田市・津和野町・吉賀町・林業事業者	流域内（国有林整備、水源林整備、保安林整備、造林事業）	
被害対象を減少させるための対策	高台の整備（掘削土の活用）	益田市	地区の検討・対策の実施	
	霞堤背後地の土地利用規制	益田市	安富地区	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	多機能連携タイムラインの活用	国交省他 関係機関	運用・改善	
	マイ・タイムラインの普及	国交省 島根県 益田市	住民説明会、普及促進等	
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	益田市 津和野町 吉賀町	要配慮者利用施設の避難確保計画作成、避難計画に基づく訓練促進	
	洪水時の河川情報の充実（水位・カメラ映像等）	国交省・島根県	危険箇所の水位観測及び監視	（運用の充実）
	防災教育・防災知識の普及	国交省・島根県	普及促進等	

■事業規模
河川対策（約89億円）



※スケジュールは、今後の事業進捗により変更となる場合がある。